

そろばん

そっと、じわじわと
じっと

(霊などが)取り付く
(燃える火に薪などを)
入れる

うんざり
ひどい身震い

積み木

家賃

紙切れ
メモ

食器棚

ブックカバー

渡り鳥

みすばらしい
つまらない、しがない

みだらだ
いかがわしい

衰れた、痛ましい
不憫に思う

寝袋

サイ

豆粒

濁っている

根拠がない
途方もない
とんでもない
でたらめだ

ふっくらと肉付きがよいさま
ぽちゃぽちゃ
まるまる
ぽってり

入れ歯

全然、まるっきり

敗れる、負ける
破産する、滅びる
やつれる、やせ衰える

重ねる、積み重ねる
(腕・脚を)組む

たっぷりとある
十分だ

つまるところ
結局

約半日
昼の半分

ハンマー投げ

【珠板】

【-貫】

うんざりする

가

【冊-】

【饌穢】

【-紙】

【醜雜-】

【寢囊】

【惻隱-】

：根拠

【濁-】

肝を冷やす

【敗-】

【畢竟】

香辛料

肺、肺臓

軽はずみに振舞うしぐさ

ぞっこん、すっかり
まんまと
くるっと ひょいと
残らず ぱくっと

広げた腕
広げた翼

すっきりする
さっぱりする
さばさばする
せいせいした気分になる

ぶん殴る
書きなぐる
書き散らす

少し曇っている
うすぼんやりしている

ねらい、照準
見当、予想

おかしい
笑わせる

ずる賢い

まんまと
跡形もなく

下水路、どぶ
川

小川

聖なる
神聖だ
偉大である

うわの空
本気でないこと

(体の一部が呼吸または
動くとき)突っ張ってずきずき
と痛む、うずく
ひるむ、すくむ

(前向きに)ぱったり倒れる
死ぬ、くたばる

(物事の)山場
瀬戸際

急に逆さまに落ちること
悪い状態
境遇に陥ること
まっしぐらに走ること

干し柿

ヒラメ

口内炎

ぜい肉

耳かき

(雨が)止む
雨宿りをする

きっと、必ず
とうとう、ついに

軽はずみだ、大げさだ

=

: 大手を振る
: 羽ばたく
意気揚々と振舞う

: だぶだぶだである
: ぐるぐらするさま

가

가 : 目分量

가 :
字がぼやけている

: 本物とそっくだ

【奸邪-】

가

【可笑-】

:
非常に神聖だ

【開川】

/
: 打ちのめす

: うそ泣き
: そそっかしい人

() /
:
まっさかさまに落ちる

: 老いぼれている
: 決定的な場面
: 瀬戸際

【口内炎】

【広魚】

가

【期於-】

=